



表紙写真の説明

太郎ヶ城跡(第2次)発掘調査



太郎ヶ城は、本郷の豪族であった国枝為助氏が築いたとされる城です。国枝氏は文明年間(1469~1487)頃に田村(現神戸町)から池田の本郷へ移ってきたといわれ、また、為助が死去したのが明応4(1495)年なので、言い伝え通りならば、城はこの間に築かれたこととなります。

池田町無形文化財

片山八幡神社市軸

「今からおよそ三〇〇年前の寛永年間に大旱魃が続き、農作物は枯死寸前となりました。村人は老若男女が集まり一〇日間の雨乞い祈願を行ったところ、満願の未明から激しい雷雨となりました。」村人達は鉦や太鼓を打ち鳴らし、三日三晩踊り狂ったといわれています。この雨で満水した片山深町の

田面を、六尺もある大鯰が泳ぎ上がってきました。村人は、これは吉兆で神のお使いであると大鯰を神前に供え、笛、太鼓に合わせて神楽と鯰押さえを奉納しました。これが、片山八幡神社市軸の由来です。

編

集

後

記

三月、四月は別れと新しい出会いの複雑な想いの交錯する時期であり、自然界は桜花爛漫の素晴らしい季節でもあります。

三月、四月は別れと新しい出会いの複雑な想いの交錯する時期であり、自然界は桜花爛漫の素晴らしい季節でもあります。

議会報編集委員も新旧交替で新しい顔ぶれとなりました。

厳しい地方財政のなか、町議会も真剣に審らしくお願います。



議会広報編集委員

委員長 久保田重男
副委員長 牧村 隆
委員 五十川省五
委員 松岡 正彦
委員 岩谷 真海
委員 森嶋 和明

2100

は紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油インキで印刷しています。